

**【圧密（改良）】（発表：9編）**

すべての報告が高含水状態の浚渫土を対象，若しくは念頭に置いた研究報告であり，プラスチックボードドレーン（PBD）を用いた圧密促進のための工法，及び基礎研究に関する議論が行われた。適用された手法は真空圧密と受入地内外の水頭差を用いた浸透圧密であり，建設工事や航路浚渫などによって発生する超軟弱粘土の処理と有効活用が広く求められていること，またその手法が確立されつつあり，成熟期を迎えているという印象を強く感じさせた。（文責：京都大学 三村 衛）